

課題解決のための調査・検討シート ～環境部会～

◆ 全体テーマ 心が響きあう地域づくり

【課題】エコのまちあさおの推進～持続可能な地域社会の創造を目指して～（身近な地域から地球温暖化対策、緑化活動等を実践）

課題内容	課題解決策の検討	関連事業・関連活動・現状等
① 関連団体との連携、地域住民との交流	活動拠点として、環境館設立などを検討	●麻生区における市民活動の拠点施設として、平成19年4月に市民交流館やまゆりがオープン。 ・リサイクルパークあさお整備事業(環境局) ・環境総合研究所の整備に向けた検討(環境局)
② 減量指導員・環境リーダーの効果的な活動	市民共同発電所設置等の促進、自然エネルギーを利用しやすい環境整備 レジ袋の有料化の促進(レジ袋を使わずにすむライフスタイルの提案実践など)	・(太陽光)麻生区役所・柿生小・はるひ野小設置を、(風力)はるひ野小 ・住宅用の太陽光発電施設設備補助事業(1kWあたり3万円、上限12万円)(環境局) ・環境リーダー育成講座、廃棄物減量指導員(環境局) ・小田急OX栗平店、コープかながわでレジ袋有料化を実施。(小田急商事は緑化基金に寄付)(環境局) ・マルイ溝口でレジ袋削減に伴う環境保全活動。(高津区と多摩川エコミュージアムに寄付)(高津区)
③ 農業、都市緑地の保全と復元、こみの削減とリサイクル、雨水利用など	公共施設への太陽光発電設置と雨水利用などの検討	・身近な公共施設での再生可能エネルギー(太陽光発電設備、ソーラー街路灯)の導入に向けた調査を実施予定(環境局)
④ 「CCかわさき」と連動したまちづくり	「エコのまち麻生」エコ憲章の検討。 「エコのまち麻生」を目指すネットワークの検討。	・地球温暖化防止条例の制定に向けた検討(環境局) ・地球温暖化対策地域推進計画の策定に向けた検討(環境局) ●「エコのまち麻生」をめざすまちづくりフォーラム開催(麻生区)
⑤ 小中学校での環境体験学習などの促進		●自然エネルギー活用促進事業実行委員会が区内小学校への出前授業を展開(麻生区) ●4大学連携事業 地球温暖化防止をテーマに子ども向けミュージカルを実施(麻生区)
⑥ 家庭での緑化推進、CO2削減	家庭での緑化推進、CO2削減を具体的に検討	●ゴーヤーのカーテン大作戦(各区) ・エコドライブの推進(環境局) ●ハイブリッド公用車の導入(麻生区) ・打ち水大作戦(環境局・川崎区・中原区・多摩区) ・エコウェア(環境局) ・マイバック(環境局・川崎区・幸区・宮前区) ●しんゆり芸術のまちで専修大学生が区内保育園でエコバックづくり(麻生区) ・コンポスト助成制度(環境局)
⑦ 緑地保全、緑化促進	東京都が実施している校庭の芝生化や公園の芝生化	・校庭の芝生化/宮前区土橋小(教育委員会)
⑧ 公園の手入れ	公園を対象とした愛護会づくりの啓発	・麻生区内で81の公園緑地愛護会が維持管理活動を展開(環境局) ・木こりの会 籠口ノ池公園(緑と施設の調和のとれた公園づくり) 化粧面谷公園(公園広場の草刈りなど) まつのき緑地(広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定) ・里山ボランティア(早野)
⑨ 緑地保全の検討	里地里山の保全(子どもの遊び場づくり)	●麻生里地・里山保全推進事業(麻生区) ・麻生プレイパークを創る会 自然の遊び場実験(化粧面谷公園、早野聖地公園等) ●遊び場調査/白地図(麻生区) ●麻生区市民健康の森(麻生多摩美の森の会) ・木こりの会 籠口ノ池公園(緑と施設の調和のとれた公園づくり) 化粧面谷公園(公園広場の草刈りなど) まつのき緑地(広場とその周辺斜面の草刈り、樹木の間伐剪定) ・里山ボランティア(早野) ・屋上・壁面緑化への助成及び緑の活動団体への支援(環境局) ●麻生地域づくりの活動資金助成事業(麻生区)
⑩ 食育を通じての地域交流(第1期)	・学校農園を通じた地域づくりを王禅寺小学校でモデル実施 ・区内各小学校にアンケート実施 ・体験農業の関係者、JA関係者 ・王禅寺小学校をモデル校に選定	○学校農園を通じた地域づくりを王禅寺小学校でモデル実施中 10月28日収穫、秋に収穫祭を予定 ・区内全小学校で農業体験学習を実施 ・学校農園(王禅寺、金程、真福寺、虹ヶ丘、白山、柿生、長沢、柿生、栗木台) ・校外農園(王禅寺、岡上、金程、千代ヶ丘、片平) ・地産地消の推進のために、区内産野菜を区役所の食堂でランチメニューとして活用(高津区)
⑪ 農産物直売所を通じての地域交流(第1期)	8/7梶委員と打合せ(セラサモスと地域住民との交流事業について) ・体験農業の関係者、JA関係者 ヒアリング	○セラサモス「情報センター」内にて地域住民との交流事業を展開(消費者向けワークショップ開催) ・料理講習会 夏野菜(7月7日・8日)・冬野菜(12月上旬予定) ・多摩川梨フェア(8月上旬～9月上旬) ・柿フェア(11月上旬～中旬予定) ・シクラメン・パンジーフェア(12月上旬予定)
⑫ 市民農園及び援農を通じての交流(第1期)	8/7梶委員と打合せ(農業従事者等への意向調査実施について) ・体験農業の関係者、JA関係者 ヒアリング	・JAでは、今年より農業指導の派遣依頼があった場合、JAの指導者や農業従事者を派遣する事業を実施予定

- 【課題選定基準】
1. 緊急性
 2. 必要性
 3. 公平性
 4. 実現性
 5. 協働による取組の可能性
 6. 区民の主体性

- 【担い手の例】
1. 区民
 2. 行政
 3. 区民と行政
 4. その他
町会自治会・商店街連合会など

資料5

